

日本語教育通信

http://www.jpff.go.jp/j/japanese/survey/tsushin/index.html

編集 独立行政法人 国際交流基金

第65号

2009年10月～2010年3月

JAPAN FOUNDATION



目次



日本語教育ニュース

2010年1月

第13回

日本語国際センターは設立20周年を迎えました



授業のヒント

2009年10月

日本理解のために読む



新聞・雑誌から見る現代日本

2009年12月

第33回

どうする？ 環境問題



文法を楽しく

2009年11月

「まで・までに」



本ばこ

2009年10月～2010年3月

新刊教材・図書紹介



Nihongo Kyoiku News

Jan, 2010

The 20th Anniversary of the Japanese-Language Institute, Urawa



Ideas for Japanese-Language Classrooms

Oct, 2009

Let's Learn about Japan through Reading



Aspects of Japan Today in the Newspaper and Magazine

Dec, 2009

25% Cut in Greenhouse Gas Emissions! How good will it be for us?



Enjoy Japanese Grammar

Nov, 2009

made & madeni



Bookshelf

Oct-Mar, 2010

Introduction of New Titles

On the Web

以下の記事はウェブサイトのみにてご覧になれます。



日本語・日本語教育を研究する

2010年3月

第38回

学習者オートノミー、自己主導型学習、日本語ポートフォリオ、アドバイジング、セルフ・アクセス

大阪大学大学院文学研究科 教授 青木直子



Research on the Japanese Language & Japanese Language Education

Mar, 2010

Learner autonomy, self-directed learning, Japanese Language Portfolio, advising, and self-access

AOKI, Naoko
Professor
Graduate School of Letters, Osaka University



海外日本語教育レポート

2010年2月

第22回

コミュニケーションツールとしての日本語
— 発表形式の可能性 —

シンガポール教育省 語学センター
日本語学科
シニア・ティーチャー タン・チンイエン



Current Report on Japanese-Language Education around the Globe

Feb, 2010

Japanese Language as a communication tool
Applying language skills through presentation tasks

Tan Chyn Ngian
Singapore Ministry of Education Language Centre
Senior Teacher

『日本語教育通信』

編集：独立行政法人 国際交流基金
〒330-0074 埼玉県さいたま市浦和区北浦和 5-6-36
国際交流基金日本語国際センター
TEL：+81-48-834-1183 FAX：+81-48-831-7846
E-Mail：jfnckt@jpf.go.jp
編集協力：株式会社アーバン・コネクションズ

編集部から

「日本語教育通信」は2009年5月から、印刷物としての発行を休止し、webサイトのみでの提供となりました。毎月、いずれかのコーナーの記事が更新されます。
2009年10月から2010年3月までの記事をまとめて第65号としました。印刷して保存するときにこの表紙をお使いください。



日本語教育ニュース

にほんごきょういく

日本語国際センターは設立 20 周年を迎えました

にほんごこくさいせつりつしゅうねんむか

1989年7月1日に埼玉県浦和市（現・さいたま市）に設立された国際交流基金日本語国際センターは、2009年に設立20周年を迎えました。これまでに世界各国から10,000名を超える方々を研修参加者として迎え、海外日本語教師研修プログラムや指導的日本語教師の養成コース等を実施してきました。また、日本語教材の開発や日本語教育専門図書館の運営等、海外における日本語教育を支援・推進するための様々な事業を行ってまいりました。

この20周年を記念して、当センターでは様々な記念事業を実施しました。その模様を紹介したいと思います。

日本語国際センター設立 20 周年記念事業

にほんごこくさいせつりつしゅうねんきねんじぎょう

高校生のための国際理解セミナー

こうこうせいこくさいりかい

8月末の2日間に渡って、日本語国際センターと財団法人埼玉県国際交流協会の共催で、「高校生のための国際理解セミナー」を開催しました。日本語国際センターが所在する埼玉県には2009年現在143か国、約12万人の外国人が生活しています。日本における多種多様な文化や在住外国人を取りまく状況への理解を深め、多文化共生社会の推進に寄与する高校生を育成することを目的にこのセミナーは行われました。

セミナーでは、応募のあった40名の高校生と、日本語国際センターの研修参加者及び埼玉県在住の外国出身の方など70名が、多文化共生社会づくりへのアクションプランを作成しました。「言葉の壁」「日本社会の問題」など7つのテーマごとに、自分たち一人ひとりに何が

できるか、地域住民や行政に何を求めるかなど様々な視点から話し合い、それぞれの解決策について発表を行いました。また、セミナーの最後には、約30か国、100名の多国籍パーティーが行われ、世界の食文化などに触れながら交流を深めました。今回初の試みでしたが国籍や文化の違う人々との交流を通じ、異文化への理解をより深めることができたセミナーとなりました。



グループワーク



アクションプラン発表

(笹谷富美恵)

シンポジウム

「JF 日本語教育スタンダード—その活用と可能性—」

にほんごきょういくかつようかのうせい

国際交流基金では、日本語の教え方、学び方、評価の仕方を考えるための基盤となる「JF 日本語教育スタンダード（以下、JFスタンダード）」を開発しています。このJFスタンダードについてより深く知ってもらうと、10月4日に20周年記念シンポジウムを開催しました。

シンポジウムでは、JFスタンダードは「相互理解のための日本語」を理念とし、さまざまな教育現場に活用できること、2010年3月に(1)能力記述文データ検索ウェブサイト（みんなのCan-do サイト）



まとめのセッション



図書館：様々な言語のポートフォリオ展示

(2) ポートフォリオ・サンプル (3) 事例集を発表すること、を開発担当者が報告しました。また、国際交流基金の国内外の日本語教育現場から、能力記述文（Can-do）を利用したシラバス改訂や授業目標の共有、自律的な学習や言語的・文化的体験への振り返りを支えるポートフォリオについて報告を行い、引き続き、全体での

ディスカッションも行いました。

当日は、日本語教師および日本語教育関係者、企業関係者、学生等、各方面から多くの参加をいただき、熱心で活発な質疑応答や意見交換がなされました。JFスタンダードは日本語教育に携わるみなさまと一緒に

発展させていくものにと考えています。

JF 日本語教育スタンダード

http://www.jpj.go.jp/j/urawa/j_rsrcs/standard/

(渡辺愛)

日本語国際センター設立 20 周年記念講演会・式典

日本語国際センターの設立 20 周年を記念して、10 月 9 日に講演会及び式典を開きました。講演会では、平成 21 年度国際交流基金賞日本語部門を受賞した米国日本語教師会連合 (Alliance of Associations of Teachers of Japanese, 通称 AATJ) のスーザン・シュミット事務局長に「アメリカにおける日本語教育と AATJ の活動」と題した



スーザン・シュミット事務局長



記念式典会場にて

講演をしていただきました。米国における日本語学習者数や学習動機の変化、それに伴って日本語教師たちが抱えるようになった多様な問題、そして状況を改善していくために AATJ が取り組んできた活動が紹介されました。会場からは、アメリカでの経験を学ぼうとする世界各地の日本語教育関係者から、活発な質問が出されました。

この講演につづき、記念式典を行いました。埼玉県の上田清司知事、さいたま市の清水勇人市長からお祝いのメッセージを頂いたほか、かつて日本語国際センターで実施していた外交官日本語研修プログラムを修了された駐日モンゴル大使レンツェンドー・ジグジッド閣下もご来場くださいました。

JF 便り <日本語教育編・20 号> 2009 年 11 月

<http://www.jpj.go.jp/j/japanese/report/20.html>

(鶴井百合奈)

一日本語でつながる— 国際交流まつり 2009 @北浦和

11 月 21 日土曜日に「日本語でつながる—国際交流まつり 2009@北浦和」というお祭りを開きました。当日は、天候にも恵まれ、センター周辺にお住まいの方、国際交流に関心のある方、約 900 名が参加してくださいました。

お祭りでは、日本語国際センターの研修参加者により、世界の歌と踊り、世界の国紹介、世界の遊び体験、外国語学習入門、写真コンテスト「私が見た日本」、「日メコン交流年記念発表会」などが行われました。そのほかにも、図書館での世界の日本語教材の展示、食堂での世界各国の料理の提供、空手デモンストレーション、落語入門など盛り沢山のプログラムがありました。また、地元の埼玉県、埼玉県国際交流協会、埼玉大学などからも協力を得て、各団体を紹介するコーナーも設けられました。

参加された方々からは、「とても楽しかった」「さまざまな国の人と交流できてよかった」「おもしろい企画でした」などの声が多数寄せられ、大盛況のうちに終わりました。

研修参加者も、準備が大変だったにもかかわらず、「たくさんの人々と交流ができた」「友だちができた」「お祭りに参加できてラッキーだった」と、とても楽しく充実した一日になったようです。



世界の歌と踊り



世界の国紹介

(竹田順二)

日本語国際センターは、地域のみならず、世界中のみなさまに支えられ、設立 20 周年を迎えることができました。

今後も引き続き、海外の日本語教育のさらなる充実化を目標に歩んでいきます。



授業のヒント

じゅぎょう

テーマ

日本理解のために読む

目的 むくでき
• 初級学習者が読解を通して日本の生活文化を学ぶ
学習者のタイプ がくしゅうしゃ
初級 しょきゅう
クラスの人数 にんずう
何人でも なんにん

日本についてよく知りたいという気持ちは、学習者の日本語レベルに関係なくあると思います。初級の学習者が日本語を通して日本について学ぶためには、どんな方法があるのでしょうか。「授業のヒント」のコーナーでは、「外国語学習に文化理解を取り込む」というテーマを過去2回取り上げましたが、今回は、読解で文化理解を目指す授業についてご紹介しましょう。

◆初級の読解文〈なにを読むか〉

学習者が「読みたい」という気持ちで積極的に読むためには、読解文のトピックや内容が、学習者の興味、関心とあっていることが大切です。日本事情や日本の生活文化に関するものは、多くの学習者にとって、とても良いテーマだと言えるでしょう。一方で、読解文の日本語のレベルが初級学習者にとって難しすぎないものを選ぶ必要もあります。

◆具体的な素材

初級用読解文は、以下のウェブサイトを利用すれば海外でも簡単に入手できます。

「みんなの教材サイト」(※会員登録が必要です。)

<http://minnanokyozai.jp>

①教室活動

「教材用素材」のセクションから「教室活動」を開いてください。「教室活動をさがす」の画面から、「読解、文化理解、初級前半、初級後半」にチェックを入れて検索してみましょう。たくさんの活動が出てきますが、その中から、「日本理解」に役立つような文章を選びましょう。タスクシートや活動の案なども充実しています。

②写真

「教材用素材」のセクションから「写真」を開いて

ください。

『写真パネルバンク』から引用した写真には、下の画面のように解説文がついています。



この「発展解説」を読解に利用することもできます。少し難しいかもしれませんが、辞書が使える学習者なら、「発展解説」をそのまま使ってもいいと思います。しかし、それでも難しい場合は先生がやさしく書き直してください。

げんかん

げんかんは、家の入口です。日本では、家の中に入るとき、げんかんでくつをぬぎます。ぬいだくつは、きちんとならべます。でも、すぐはかないときは、げたばこに入れたほうがいいです。

家の中は、げんかんより少し高いです。それで、家に入ることを「家に入る」といいます。くつをぬいで家へ上がってから、スリッパをはきます。



写真の解説を書きなおして作ったテキストの例
(『読む力-CHIKAR for READING』J1「ホームステイ」より)

『日本語教育通信』「写真で見る日本人の生活」

<http://www.jpff.go.jp/j/japanese/survey/tsushin/bn/bn001.html>

『写真パネルバンク』の写真をいろいろなテーマに

そって集め、説明文をつけて日本人の生活をさまざまな角度から紹介しています。とてもわかりやすいだけでなく、授業で使う教材として書き直しやすい構成になっています。

『読む力-CHIKARA for READING-』

http://www.jpfr.org.uk/language/teaching_chikara_reading.php

「ホームステイ」「日本人のお祝い」など7つのトピックがあり、本文のほか、音声ファイル、読む前の質問、キーワード、理解問題、漢字とことばの問題、文型練習、発展課題で構成されています。国際交流基金ロンドン日本文化センターで開発された教材で、もともと中等教育向けの教材ですが、大学生や一般成人の学習者にも使えます。

◆どんな読み方がいいか

面白そうなテキストを準備しても、学習者は一人ではなかなか読めないことがあります。授業では、実際に読む前に読解文の内容に関連した話したり考えたりするとよいでしょう。その後、教師主導で読む方法もありますが、読解文が少し長い場合は学習者同士のペアやグループで読む方法も効果的です。以下にその例を3つあげます。

例1. ペアで読む方法1

- ① ペア毎に割り当てられた段落を読み、あとで内容をクラスに報告する。
- ② ほかのペアの報告をよく聞いて、情報を共有する。
- ③ テキストをクラス全体で読む。

例2. ペアで読む方法2

- ① ペアを組んで、声を出して読む人（Aさん）と聞いて質問する人（Bさん）を決める。
- ② 段落ごとに役割を交代しながら読む。

例3. グループで読む方法

- ① グループ毎に割り当てられた段落を読む。
- ② 各グループから一人ずつ集まって新しいグループを作る。（こうすることで違う段落を読んだメンバーが集まることになる。）
- ③ そこで一人ずつ自分が読んだ部分を説明し、グループ内で情報を共有する。
- ④ その後、クラス全体で内容を再確認する。

◆読解作業を補完する教材

日本の生活文化は学習者にとって未知のものである

場合が多いので、写真やビデオは言語で学んだ内容をより正しく理解するためにたいへん有効です。「みんなの教材サイト」の「写真」は、写真だけでなく、「基本解説」の音声をダウンロードすることができます。写真を見ながら、音声とマッチングする活動なども楽しいでしょう。

また『エリンが挑戦！にほんごできます。』は文化を紹介する上でたいへんすぐれた教材です。教室で見ると必要部分を取り出しやすい点も助かります。

◆文化理解の指導

自国の文化とあまりにも違うことに対して学習者は否定的なイメージを持ってしまいかねません。しかし表面的なことを見るだけではなく、なぜそんな習慣があるのかよく考えさせることが大切です。そうすることでより深い理解ができるでしょう。

日本の習慣：「お風呂のお湯を家族みんなで使う」

↓

学習者の驚き：「ええっ、きたないんじゃないの!？」

↓

日本の習慣の説明：

湯船に入る前に体をきれいに洗う、
毎日お風呂に入るので清潔な体をしている、
お湯をわかすための燃料の節約にもなる、
お湯をあとでせんたくやそうじに再利用することができる、

↓

学習者の理解：「なるほど、そういうわけか。きたないなし、むしろ日本人はきれいな好きなんだな。お湯を捨てないのは環境にもよさそうだな。」

日本の習慣や文化を理解するだけではなく、自国の習慣や文化と比較することも大切です。ただ、そのとき文化に優劣をつけるようなことはしないようにしましょう。どちらの習慣、文化もそれなりの理由や意味があり、どちらも尊重しなければならないということを学ぶようにしましょう。

参考資料

国際交流基金日本語国際センター（1995-1998）『写真パネルバンク』日本出版貿易
国際交流基金（2007）『DVDで学ぶ日本語 エリンが挑戦！にほんごできます。』凡人社

このコーナーの担当者：来嶋洋美・白井桂／日本語国際センター専任講師

読者のみなさんからのアイデア、成功例、失敗例などぜひお寄せください。



新聞・雑誌から見る現代日本

しんぶん ざっし み げん だい にほん

第33回
だい かい

どうする？ 環境問題——温室効果ガス 25%削減
かんきょうもんだい おんしつこうか さくげん

このコーナーでは、新聞・雑誌の記事を通して現代日本事情の紹介をするとともに、日本語を教える先生方が新聞・雑誌の記事などの生教材をどうやって教材化し、中・上級の日本語の授業にどう活用できるかを提案していきます。

読む前に

現在の日本社会でもっとも広く使われているキーワードの一つが「エコ」ではないでしょうか。「エコ」とは、もともとは人間と自然環境の関係などを研究するエコロジー (ecology) の略語でしたが、様々なことばと結びつくことによって、たくさんのお話を生み出しています。「環境にやさしい」と言い換えることもできるでしょう。

世界同時不況の影響による厳しい状況の日本社会では、2009年に入ってから、「エコカー減税 (http://www.honda.co.jp/green-tax/reduction/merits/merits01/)」や「エコポイント制度 (http://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg2670.html)」(動画サイト) など、環境にやさしい製品を購入するときに税金の減額や購入特典をえられるようにすることで、経済を活性化しようという政策が打ち出されました。どんなことばにも「エコ」がつかうようになってくると、「エコ」ということばを、厳密には定義しにくくなるのですが、そこに未来を明るくするイメージが含まれていることは確かです。

日本国内に限らず、「エコ」の背景にある環境問題は世界的な課題です。地球温暖化による海面上昇の影響で、国がなくなってしまうのではないかとされている地域もあります。「グリーン・ニューディール」(Green New Deal) ということで、2008年後半から世界各国が地球温暖化、世界金融危機、石油資源枯渇の問題に真剣に取り組むようになってきました。

2009年8月末の日本の総選挙で民主党が圧勝し、9月に民主党を中心とする連立政権が誕生してから、鳩山首相が世界に向けて発した最初のメッセージは、「日本政府は、温室効果ガスの削減目標として、1990年比で言えば2020年までに25%削減を目指す」という非常に高い目標でした。この鳩山首相の国連演説でのメッセージは、国際的にも日本国内でも驚きをもって迎えられました。そして、これが実行可能な数字なのかという点で、様々な議論を呼んでいます。

今回取り上げる記事は、このメッセージに対して、環境問題の研究者と大手コンビニエンスストアのCEOがどのように考えているかという内容です。みなさんの国では、地球規模のレベルの環境問題についてどのように考えていますか。今回、日本から発せられたメッセージをどう受け止めればいいのか、いっしょに考えてみましょう。

参考ウェブサイト A

■ The Japan Times Online “Impetus for a low-carbon world” (2009年9月19日) (英語)

<http://www.japantimes.co.jp/weekly/ed/ed20090919a2.htm>

■ 毎日小学生新聞 「科学 温室効果ガス 「25%削減」表明に世界が拍手」(2009年10月3日)

<http://mainichi.jp/life/edu/maishou/mado/archive/news/2009/20091003kei00s00s003000c.html>

質問 1: みなさんの国では、温室効果ガスの削減について、どのような意見がありますか。あるいは、実際にどのような取り組みがなされていますか。自分の国の新聞やウェブサイトなどで調べてみましょう。

質問 2: 「環境にやさしい」という意味の「エコ」で始まるカタカナ語にはどのようなものがありますか。ウェブサイトなどで調べてみましょう。そして、記事(1)の見出しの「エコな街づくり」とはどのようなものなのでしょうか。また、記事(2)の文中太字のキーワード「反エコ」とはどのようなものなのでしょうか。本文を読む前に具体的な例を考えてみましょう。

論点



小宮山 宏

三菱総合研究所理事長。前東京大学学長。専門は化学システム工学、地球環境工学。

9月22日、鳩山首相は国連気候変動首脳級会合で2020年までに日本の温室効果ガスの排出を1990年比で25%削減すると表明した。このことがもたらす結果に危惧の念も寄せられているが、要はやり方次第なのである。私は、輝かしい日本を実現する格好の目標たりうると考えるので、そのための提案を行いたい。

25%の内訳を概算すれば、「日々のくらし」で11%、「ものづくり」で5%、原子力と風力などで4%、森林吸収源等で5%、あわせて25%と考えている。「日々のくらし」での大きな削減は、省エネ、創エネの先端機器やサービスの購入を意味し、それが「ものづ

温室ガス25%削減

エコな街づくり達成の鍵

「ものづくり」のマーケットを育て、雇用を創出し、21世紀の世界が必要とする新産業を日本から生み出すことを可能にする。今こそ、前向き志向が必要なのである。

日本のエネルギー消費は、家庭、

れば、排出量購入によらず、25%削減の自力達成が可能である。「日々のくらし」で大きな削減を行えるか否かが提案実現の鍵になる。市民の理解が進み、初期投資を代行する自立債、排出量取引など、適切な仕組みを整えられれば可能なのだが、20年はすぐにつけてくる。社会実験を行いつつ普

ろう。そこで、全国の自治体と協働でまちづくりの実験を行うのが、「プラチナシティ・ネットワーク構想」である。プラチナとは次世代のキーワードである高齢者、生態系、低炭素の三つの輝きを表しており、エコでバリアフリで快適なまちづくりを目指す。すでに、青森県、福井県、千葉県柏市などが動き始めており、多くの都市から参加したいという声も寄せられている。また、東京大学とフューチャーデザインセンターが推進役を担う。姉妹都市の締結を通じ、特にアジアと連携する。

オフィス、輸送の「日々のくらし」が55%、素材、自動車、家電などが45%を占める。

の進行率を4分の1として、11%の削減を目指す。

日本は課題先進国であり、温暖化のみならず多くの困難を抱えている。これらを同時に解決するた

めをまちづくり運動を起そうではないか。その中で、25%削減も達成するのだ。日本の国土は南北に長く、気候、生活、文化は多様である。未来のまちの姿も多様だ

「日々のくらし」には削減余地が大きい。我が家をエコハウスにし、エコカーを導入し、東京大学総長室に2枚目の窓を設置するなどの対策で、エネルギー消費80%削減が可能であることを実証した。そ

のほ得策でない。5%と想定する。原子力発電の稼働率を国際レベルまで高めて3%、森林保全による吸収源拡大、海外での省エネや新エネ投資などが寄与する。こうす

る。その中で、全国の自治体と協働でまちづくりの実験を行うのが、「プラチナシティ・ネットワーク構想」である。プラチナとは次世代のキーワードである高齢者、生態系、低炭素の三つの輝きを表しており、エコでバリアフリで快適なまちづくりを目指す。すでに、青森県、福井県、千葉県柏市などが動き始めており、多くの都市から参加したいという声も寄せられている。また、東京大学とフューチャーデザインセンターが推進役を担う。姉妹都市の締結を通じ、特にアジアと連携する。

市民が協力し合える風土の力と太陽電池、燃料電池、蓄電池、ヒートポンプ、エコカー、エコ家電、断熱材といった日本が得意とするものづくりの力を結集する「プラチナシティ・ネットワーク構想」の推進が、温暖化の解決や新産業の創出で世界を先導するのだ。

▲記事(1) 読売新聞(朝刊) 11面 2009年10月16日

読売新聞社に無断で転載等著作権を侵害する一切の行為を禁止します。
この記事・写真等は、読売新聞社の許諾を得て転載しています。



にいなみ たけし / 1969年生まれ。神奈川県立横浜翠嵐高校から慶大経済学部に進学。卒業後、81年三菱商事入社。91年ハーバード大学経営大学院修了(MBA取得)。2002年に退職。同年5月からローソン社長。

資材メーカー「男性」40歳 鳩山首相が唱えた温室効果ガス25%削減って、 本当にできるのでしょうか？

今回の「鳩山イニシアチブ」については、おいおい、そんなことを言っちゃっていいの？ という周囲の声が多いようですが、僕は〇印をつけます。日本のリーダーが、世界に態度を示したことは評価できる。何かを始めるためには、多少**大胆な発言**もOKだと思います。

でも、どんな根拠で25%という数字を出したのかがあいまいですね。大幅削減のための具体策や意義を政府は説明していません。これは×印です。日本が世界の環境問題をリードしていくための骨格を早く表明してもらいたいですね。

もちろん、25%という削減幅を国内努力だけで実現しようとは、鳩山さんも考えていないでしょう。いわゆる「真水」ではなく、途上国に環境技術を持ちこんで支援したりすることで「削減したとカウントする」な

どのしくみを作らなきゃ、ムリ。国内で開発した優れた環境技術を、発展目覚ましい東アジア共同圏を中心に、どんどん海外へ持っていくべきです。

ただし、エコで稼ごうという意味じゃないですよ。地球にやさしい暮らしといっても、昔のようなのどかな生活に戻れるはずもなく、文明社会の中で、多くの人がライフスタイルを改革しようと考えている。

今までの拜金的な資本主義は姿を変えようとしています。これからの資本主義は、**地球環境型経済**とでもいうのかな。「おれがおれが」の時代からエゴをまん中にして「みんなで力を合わせて」がキーワードの時代になるでしょう。そうした意識改革のもと、社会貢献に努める企業だけが生き残るのではないのでしょうか。つまり、社会のため、地球のためになる企業に

収益がついてくる。エコ活動と経済は手を取り合って発展していくことになると言いたいのです。

では、日本の企業は温室効果ガス25%削減に対応できるか？ できると思います。前述した「しくみ」が整えばのことですが、ローソンも、すでに照明を省エネ効果の高いLEDにしたり、節電の冷蔵庫を入れたり、店舗改革に取り組んでいます。とかく「反エコ」のイメージに見られるコンビニですが、僕は生活者に一番近いコンビニこそエコ活動を国民運動へと広げる手助けができると思います。

環境イノベーションを本気でやりますよ。ピンチはチャンスです。

東京・丸の内で開催中のAERAビジネスセミナーで、新渡社長が講師をします。11月24日午後7時、参加料5,000円。今回は受講者との対話時間もたっぷり。申し込みは朝日カルチャーセンター・新宿のHPから。
http://www.aerajournal.com/

▲記事(2) AERA 10月19日号 p.83

朝日新聞社に無断で転載等著作権を侵害する一切の行為を禁止します。この記事・写真等は、朝日新聞社の許諾を得て転載しています。

読もう

質問3： 温室効果ガス25%削減について、記事(1)の筆者と記事(2)の筆者はどのような立場をとっていますか。ア～エの中から正しいものを選んでください。

- ア. 記事(1)の筆者も記事(2)の筆者も、ともに明確にしていない。
 イ. 記事(1)の筆者も記事(2)の筆者も、ともに批判的である。
 ウ. 記事(1)の筆者も記事(2)の筆者も、ともに賛同している。
 エ. 記事(1)の筆者は批判的であるが、記事(2)の筆者は賛同している。

質問4： 今後、温室効果ガスを削減していく方法として、記事(1)と記事(2)のもっとも異なる点は何ですか。次の文の空欄に当てはまることばとして、最も適当なものはア～エのどれですか。

記事(1)ではA：[]によらない国内努力で25%削減の自力達成が可能としているが、記事(2)では国内努力だけでなく、途上国にB：[]を持ちこんで支援するようなC：[]をつくらなければ無理だとしている点。

- ア. A：環境技術 B：文明 C：ライフスタイル
 イ. A：具体策 B：ライフスタイル C：しくみ
 ウ. A：省エネ B：具体策 C：ライフスタイル
 エ. A：排出量購入 B：環境技術 C：しくみ

質問5： 記事(1)の筆者が提唱している「プラチナシティ・ネットワーク構想」では、どのような街づくりを目指していますか。

質問6： 記事(2)で、温室効果ガス25%削減という目標の問題点はどこにあると筆者は考えていますか。

質問7： 記事(2)の「地球環境型経済」というのはどのようなものですか。

〈解答例〉

質問3： ウ 質問4： エ 質問5： エコでバリアフリーで快適な街づくり

質問6： どんな根拠で25%という数字を出したのかがあいまいで、大幅削減のための具体策や意義を政府が説明していない点

質問7： 社会のため、地球のためになる企業に収益がついてきて、エコ活動と経済が手を取り合って発展していくもの



読んだ後で

質問 8: みなさんは、「温室効果ガス 25%削減」という目標を世界に向けて発表した日本についてどう思いますか。(鳩山首相の演説全文について知りたい人は、参考ウェブサイト B を見ましょう。) まず、自分の意見とその理由を書き出したあと発表し、その後でみんなで話し合ってみましょう。

質問 9: 今回取り上げた 2 つの記事では、温室効果ガス削減と経済発展をともに実現する方法を提案していますが、みなさん自身はこの点についてどう思いますか。自分の国の状況を考えて話し合ってみましょう。また、みなさんの「日々の暮らし」では、温室効果ガス削減のためにどのようなことができますか。記事を参考にして考えてみましょう。

参考ウェブサイト B

■首相官邸ホームページ「国連気候変動首脳会合における鳩山総理大臣演説」(2009 年 9 月 22 日)

http://www.kantei.go.jp/jp/hatoyama/statement/200909/ehat_0922.html (日本語)

http://www.kantei.go.jp/foreign/hatoyama/statement/200909/ehat_0922_e.html (英語)

■新産業創造「プラチナシティ」(2009 年 10 月 1 日)

<http://platinum.mri.co.jp/node/118>

■青森県県土整備部都市計画課「青い森セントラルパーク 低炭素型モデルタウン構想への期待」パワーポイント (ppt) 資料 (2009 年 9 月 29 日)

<http://www.pref.lg.jp/soshiki/kendo/toshikei/files/2009-1008-2207.pdf>

■毎日 jp 「時代を駆ける：新浪剛史 /6 止 「ローソイズム」造りたい」(2009 年 9 月 16 日)

<http://mainichi.jp/select/opinion/kakeru/news/20090916ddm004070175000c.html>

【解説】

今回は、地球規模の問題である温室効果ガス削減に関する論説文と Q&A 風の記事を選び、実際の教室活動の流れも意識して質問と記事を提示しました。

「読む前に」で記事本文の内容を理解できるように、テーマに対する問題意識を喚起し、キーワードについて考えることができるような練習を取り入れてみました。また、今回も背景知識として役立つような参考ウェブサイトを紹介しました。なお、本文中のキーワードのリンク先として動画サイトも利用できるようにしました。

「読もう」では、論説文と Q&A 風というスタイルの異なる 2 つの文章を比較しながら筆者の立場を問う問題、筆者の主張を理解する問題などを練習に含めました。

「読んだ後で」では、この記事に対する意見を述べる練習、環境問題についてより深く考えることを促す質問も含めました。参考ウェブサイト B はさらに詳しく調べたい人のためのものです。図やグラフが豊富なパワーポイント資料 (pdf 版) にもリンクしています。

このコーナーの担当：林敏夫・浜田盛男／関西国際センター日本語教育専門員

今回取り上げたテーマや練習案についてのご意見をお待ちしています。また、今回の記事を使って授業をしたときの様子や結果などをお寄せください。



文法を楽しく!!

ぶん ぼう たの

「まで・までに」

次の文は外国人学習者が実際に作った文ですが、皆さんは読んでみてどこがおかしいと思いますか。「まで」と「までに」に注意して考えてください。

- 午後3時までレポートを提出してください。
- 何時までにこのテストは続くのかな。

(1) では「まで」、(2) では「までに」が使われていますが、正しくは(1)は「までに」、(2)は「まで」とする必要があります。

「まで」と「までに」は見たところよく似ていますが、意味用法が異なります。簡単なようで間違いやすいので、今回は「まで」と「までに」について考えたいと思います。

まず、問題です。次のストーリーを読んで、あなたならどう言うか考えてください。

問題1：〈あなたは学生です。〉

あなたは友達に本を貸してあげる約束をしました。でも、その本は4月1日に始まる新学期の授業で使うので、その前には返してほしいのです。では、本を友達に貸すとき、あなたはどのように言いますか。()の中から正しいものを選んでください。

あなた：この本は、3月31日(まで/までに/に)返してくださいね。

問題2：〈あなたは会社員です。〉

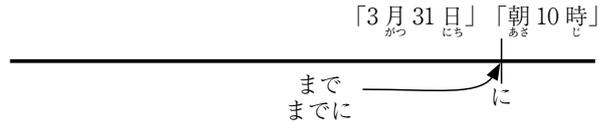
課長から新プロジェクトの企画書を出すように言われています。なかなか難しくまとめられません。でも、明日午後には会議があるので、午前中に課長に提出しなければなりません。

あなた：明日の朝は10時(まで/までに/に)課長に企画書を提出しよう。

できましたか。答えは、問題1、2とも「までに」です。そうですね。「に」も正しいですね。

「に」と「まで/までに」の違いは、「に」がその時点そのものを示すのに対し、「まで/までに」が「その時点(ここでは3月31日と朝10時)を限界として、その時点

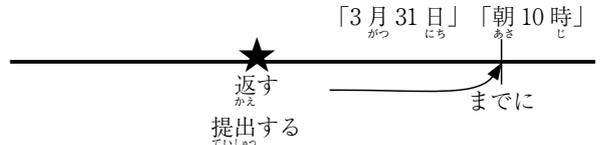
より前に(通常はその時点も含める)」を表します。図で示すと、次のようになります。



ですから、3月31日、また朝10時ちょうどの時点を目指すときは、「に」でいいことになります。

では、その時点を限界とする「まで」と「までに」はどう違うのでしょうか。

「まで」と「までに」を考えると、使われている動詞に注目してください。問題1では「返す」、2では「提出する」が使われていますね。「返す」「提出する」は通常は一回きりの、続いていない(その場で終了する)行為・動作です。図に示すと、次のようになります。★がその行為・動作の起きた時点です。



では、次の問題です。

問題3：島さんは彼女とデートの約束をしました。夕方5時にレストランJの前で会うことになりました。ところが、当日、時間になっても彼女は来ません。1時間待ちましたが、彼女は現れません。しかたがないので、島さんは家へ帰りました。そして、彼女にメールをしました。

島：今日どうして来なかったのですか。私は6時(まで/までに)待ったんですよ!

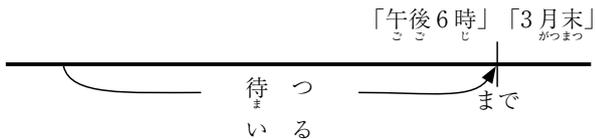


問題4：あなたは来年4月から新しい職場に変わる予定
です。友達にそのことを話してください。

あなた：来年3月末(まで/までに)今の会社にいて、
4月に新しい仕事場に移るつもりです。

できましたか。答えは、問題3、4とも「まで」です。

ここで使われている動詞は「待つ」と「いる」ですね。
これらの動詞の特徴は、ある一定時間(期間)その行為・
動作が続く、継続することを表します。



では、今まで出てきた動詞と、「まで/までに」について整理してみましょう。

までに：一回きり、継続しない行為・動作・出来事
を表す動詞(例：返す、提出する)と結び付く。
まで：一定時間(期間)継続する行為・動作・出来事
を表す動詞(例：待つ、いる)と結び付く。

このことを点(その時点で終わる、継続しない)と幅
(一定時間続く、継続する)で表すと、「までに」が点を、
「まで」が幅を表す動詞と結び付くと考えられます。

点を表す動詞には「返す」「提出する」のほかに、
「終わる」「結婚する」「出す」「決める」などがあります。
また、幅を表す動詞には、「待つ」「いる」のほかに、
「続ける」「働く」「休む」「生きる」などがあります。

- (3) 会議は遅くても4時(×まで/○までに)終わる
だろう。
- (4) 30歳(×まで/○までに)結婚したい。
- (5) 大学を卒業する(×まで/○までに)、就職先を決め
たい。
- (6) 来年の大会(○まで/×までに)テニスの練習を
続けるつもりだ。
- (7) この会社の人は夜中(○まで/×までに)働くのが
普通だ。
- (8) うちの祖母は百歳(○まで/×までに)生きた。

このように、点を表す動詞は「までに」と、幅を表す
動詞は「まで」と結び付きやすくなります。

ところが、動詞には次のように点と幅、両方を表す

ものがあります。同じ動詞がaでは点として、bでは
幅として使われています。

「寝る」

- (9) a. 子供は夜9時までに寝たほうがいい。
b. 今日は日曜日なので、朝11時まで寝ていた。

「行く」

- (10) a. 12月5日までに九州へ行くつもりだ。
b. 九州には2週間行っている予定だ。

「覚える」

- (11) a. このページの内容は明日のテストまでに覚え
なければならない。
b. さっきまで覚えていたのに、忘れてしまった。

「まで+幅(継続している)を表す動詞」「までに+
点(継続していない)を表す動詞」が原則ですが、幅か
点かが特定できない動詞の場合、また、話し手が幅か
点を明確に表したい場合は、次のようにすると、意味が
はっきりします。

1. 幅(継続している)を表すために、動詞に「ている」
を付ける。(書きことば的な「(し)続ける」を付ける
こともある。)
- (12) 毎晩11時まで起きている。
- (13) きのは夜中の1時まで勉強していた。
- (14) 彼は朝8時から11時まで食べ続けている。
2. 点(継続していない)を表すために、動詞に「(し)終わる」
「てしまう」「ておく」などを付ける。
- (15) 急ぐから、8時までに食べ終わってください。
- (16) 友達が来るまでに、勉強してしまおう。
- (17) 午前10時までに書類を書いておいてください。

また、動詞が否定になった場合は、動詞は点の性質を
弱め、幅(継続している)を表すようになります。「結婚
する」「提出する」は点を表す動詞ですが、(18)(19)で
は否定になって幅を表しています。

- (18) 私は仕事がおもしろいので、30歳(○まで/×までに)
結婚しない。
- (19) 論文は締め切りぎりぎり(○まで/×までに)提出しない
つもりだ。

参考文献：

庵功雄他(2000)『初級を教える人のための日本語文法
ハンドブック』スリーエーネットワーク

このコーナーの担当者：市川保子(日本語国際センター客員講師)

このコーナーについてご感想やご質問があれば送ってください。



本ばこ

ほん

— 新刊教材・図書紹介 —

しん かん きょう ざい と しょ しょう かい

東京を観光しながら楽しく学べる日本語教材

『LIVE from TOKYO 生の日本語を聞き取ろう!』

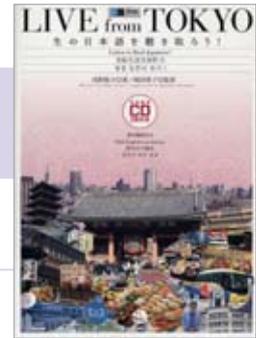
著者：浅野陽子 監修者：嶋田和子
ちよしゃ あさの ようこ かんしゅうしゃ しまた かずこ
出版社：ジャパントイムズ
しやうほんしや

URL : <http://bookclub.japantimes.co.jp>

発行年月：2009年6月
はっごうねんげつ ねん がつ

ISBN:978-4-7890-1357-4

判型：B5判、160頁、別冊16頁、CD2枚 定価：2,520円
はんけい はん ページ ページ ページ まい ていか えん



海外で日本語を学ぶ学習者は年々増加しています。しかし教科書に出てくる日本の場所、例えば、東京、京都などへ実際に訪問できる人は多くはありません。本書は、日本に来る機会の少ない人でも、日本での雰囲気を楽しみながら日本語が学べる教材です。学習者が日本(東京)に来たときに出会うであろう場面を選び、それぞれの場面で、日本人同士の「生の会話」を録音したものをとに作られています。

本書の特徴は次の通りです。

- ① 日本人同士が話している生の日本語が聴ける。
- ② 東京の文化や生活を知ることができる。
- ③ 実際の会話ではよく使われるのに、教科書には載っていないような表現がたくさん出てくる。
- ④ 学習者のレベルに合わせて聴き方を変えられる。

全体的にカラー写真が多く、各課で学ぶ分量も適当で海外の教室でも使いやすいでしょう。学習対象は初級後半から上級にかけてです。

▽旅行スケジュールにそって学べる

海外から日本へ到着し、東京のあちこちを訪問したり体験したりしながら進む流れが、そのままテキストの流れになっています。「成田空港で」「ホテルで」「浅草で」「地下鉄で」「和食レストランで」「コンビニで」「茶道教室で」「防災館で」など17の課があります。

各課は、それぞれの場所で録音した3種類の会話を、次の3つのステップを踏みながら聴き、学習できるようになっています。

「聴き取りA」：録音された場所の写真を見ながらどんな場面の会話か想像して聴き、CDから聞こえる質問に答えます。

「聴き取りB」：Aで難しかった「語句」「単語」の訳や説明を見ながら聴きます。

「聴き取りC」：スクリプトを読みながら聴いて、内容確認をします。

なお、聴き取りのカギとなる表現や語句には、英中韓の3カ国語訳が付いています。

さらに各課の最後には、確認のための「聴き取りTEST」があります。日本語能力試験の聴解問題と同じような形式なので、試験準備にも使えるでしょう。

▽学び方いろいろ、 そしてもっと知りたい情報も

このテキストの学び方はいろいろあると思いますが、それぞれの場面で日本人の生の会話を聴いて必要な情報やポイントを理解する、これを一つの目標にして東京観光を楽しんでほしいと思います。また、「もっと知りたい」のコーナー

では、例えば「旅館」「人気のおみやげ」など、日本に来たときに役立つ情報や、東京や日本に関する知識がまとめられています。ここから、調べ学習やパンフレット作成などのタスク活動に発展させることもできるでしょう。



p.49



本ばこ

ほん

— 新刊教材・図書紹介 —

しん かん きょう ざい と しょ しょう かい

自分の作文を自分で見直す力をつける

『留学生のための ここが大切 文章表現のルール』

りゅう せいの ための ここ が たいせつ ぶんしょう びょう げん

著者：石黒 圭、筒井千絵

出版社：スリーエーネットワーク

URL : <http://www.3anet.co.jp/> 発行年月：2009年5月

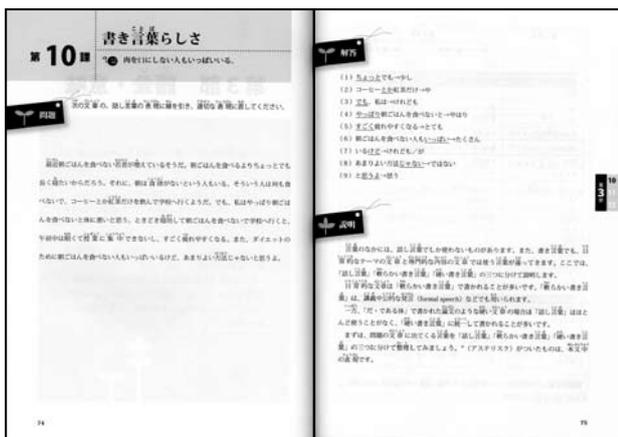
ISBN:978-4-88319-502-2 判型・頁数：B5判、146頁、別冊解答例28頁 定価：1,680円



「先生、作文を書きました。正しい日本語に直してください。」学習者がそう言われて作文を見ると、まちがいがたくさんある。授業で何度も教えたと、文法のテストでは正解なのに…正しく直して返しても、次の作文でまた同じところをまちがう。そんな経験はありませんか。この教材は、教師がまちがいを直して正しい日本語を与えるかわりに、学習者が自分で書いた作文を自分で見直す力をつけることを最終的な目的としています。

▽見直す習慣と力を身につけるためのステップ

各課は「問題→解答→説明→練習→発展」の5つのステップから構成されています。



p.74 問題

p.75 解答と説明

最初にルールを覚えるのではなく、不自然な表現を含んだ文章を読んで、それを探して直す「問題」から始めることで、学習者が自分で作文を見直す習慣をつけます。次に「解答」「説明」で不自然な理由を理解して、短い文

でたくさん「練習」することで、見直すための知識と技術を身につけます。最後に「発展」でもう一度長い文章の見直しをやることで、見直す力がついたか確認できます。

▽「わかりやすい」文を書くのに必要なポイント

学習者がまちがえたときに、教師が「正しい文」を与えても、それが学習者の言いたいことを「正しく」伝えるとは限りません。そのかわりにこの本は、読む人のことを考えて、適切でわかりやすい文を書くことを大切にしています。著者は、これまでに大学などで教えてきた学習者の書いた作文を丁寧に調べて、よくあるまちがいや、不自然でわかりにくい書き方を分類してこの本を作りました。その内容は、表記や語彙、文法だけではなく、談話、読み手への配慮など、文を書くときに大切なポイントを全体的にカバーしています。

非常にわかりやすく整理してあるので、大学の留学生でなくても、中級、上級に共通する問題点について学習するのに役立ちます。

▽自立した書き手へ

このほかにも、インターネットを使ってことばの使い方を調べる方法を紹介するなど、学習者が独り立ちするのを手助けするしかけがいろいろあります。教師は一生宿題を見てあげることはできないのですから、コース中、コース終了後も、自立した書き手として成長していき、伝えたい内容が伝わる文を書けるようになってほしい、そんな気持ちがこめられた教材です。



本ばこ

ほん

一新刊教材・図書紹介

しん かん きょう ざい と しょ しょう かい

日本語で日本語を教えるための教師用引き書 『直接法で教える日本語』

編著者：東京外国語大学留学生日本語教育センター 出版社：東京外国語大学出版会

URL：http://www.tufts.ac.jp/blog/tufspub/ 発行年月：2009年5月

ISBN：978-4-904575-04-8 判型・頁数：B5判、494頁、CD-ROM 1枚 定価：3,360円



みなさんはどのように日本語を教えていますか。この本は、いわゆる「直接法」で教えるための教師用引き書です。「直接法」ということばはいろいろな意味で使われますが、この本では、「媒介語（学習者の理解できることば）を使わない」「日本語のルールを学習者に推測させ、理解させていく」「帰納的な学習」という意味で使っています。この本は、東京外国語大学留学生日本語教育センターの、40年間にわたる経験の中から生まれた「文型」を中心とした「直接法」による教え方のノウハウの蓄積です。このセンターが編集している『初級日本語』だけでなく、ほかの日本語教科書を使っている教師も参考にすることができます。巻末には『みんなの日本語初級I、II』（スリーエーネットワーク）との文型対照表も付いています。

▽経験の浅い日本語教師でも 「日本語で日本語を教える」ことができる

「直接法」で教える場合、教師の動き、ことばの使い方、その順番、イラストや実物の使い方などに関して、さまざまな技能が必要になり、経験の浅い教師には難しいと感じる場合があります。この本には、各文型を「直接法」で導入するときの教師の台詞、学生との想定問答が書いてありますので、経験の浅い教師でも、そのまま授業で使ってみることができます。

▽教師の準備を助ける「豊富なイラスト」

「直接法」で教える場合、教師は「イラスト」や「実物」などさまざまなものを準備する必要があります。この本では、文型導入などで提示するイラスト433枚が、すべて付属のCDにカラーで収録されていますので、そのまま印刷したりして利用することができます。

▽授業時間の不足を補う副教材としての 「eラーニング教材」

この本に準拠したeラーニング教材「JPLANG」を使うことで、授業時間には行えなかった練習を学習者に自習させることができます。語彙、文法、ドリル、会話練習、聴解などのコンテンツが用意されています。ユーザー登録すれば無料で使うことができますので、海外で教える場合にも便利です。

▽教師の学ぶステップとしての利用

この本の特徴は、前述のとおり経験の浅い教師でも、書かれている内容をそのままなぞることで授業ができるという点にあります。しかし、実際の現場ではさまざまな問題にぶつかることが予想され、常に自分で考え学ぶ姿勢を持ち続けることが必要です。この本の中には「気づかせポイント」「留意点」などが書かれていますので、そうした問題にぶつかったときのヒントになるでしょう。また、この本では「文型」中心の教え方が書かれています。この本に書かれていることを参考に、応用、



発展練習をすることもできます。巻末には、市販されている3種類の教室活動集との対照表も載っていますので、より実際のコミュニケーションに近づけた活動を取り入れ、自分なりに授業を組み立てていくうえで参考になります。



本ばこ

ほん

—新刊教材・図書紹介—

しん かん きょう ざい と しょ しょう かい

内容重視で4技能を伸ばす中級教科書

『上級へのとびら—コンテンツとマルチメディアで学ぶ日本語—』

じょうきへのとびら—コンテンツとマルチメディアで学ぶ日本語—

構成・執筆：岡まゆみ 総監修・文法解説：筒井通雄

執筆：近藤純子、江森祥子、花井善朗、石川智

URL：http://www.tobira.9640.jp 発行年月：2009年7月

ISBN：978-4-87424-447-0 判型・頁数：B5判、424頁 定価：3,465円



初級の教科書を終えて、中級と呼ばれる段階に入ったものの、初級の時のように目に見える伸びが感じられず、学習への意欲も失いがち……そんな学習者はいませんか？中級の道程は長く厳しいものですが、この教科書は、そんな学習者（授業時間で言えば250～300時間終了程度）が上級に入る「とびら」を開けることができるようにと考えられたものです。初級で習った文法や語彙・漢字を定着させながら、学習者の知的好奇心を満たす内容を聞いたり、話したり、書いたり、読んだりすることによって、上級への道を歩んでいくためにさまざまな工夫がされています。

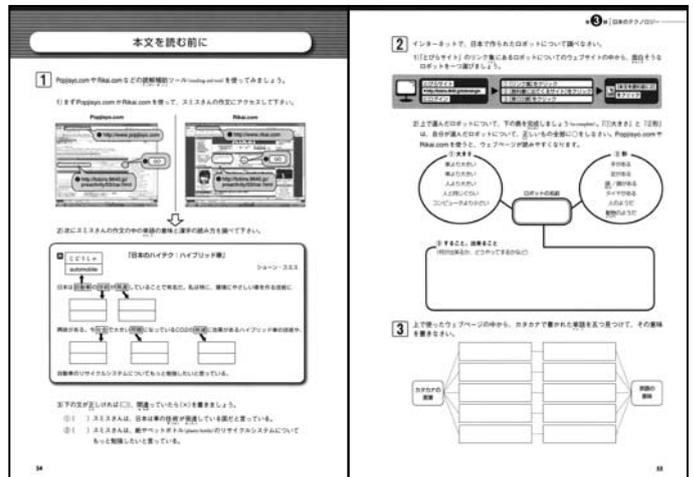
▽中上級に必要な内容重視の構成

まず、大きな特徴の一つは、この段階で求められる「内容のあるコミュニケーション」ができるようになるために、日本や日本人に関する幅広い知識や情報が提供されていることです。初級では日常的で身近な内容だけがコミュニケーションの対象でしたが、中級以上のコミュニケーションでは、多くの日本人が共有している一般常識や社会文化事情、伝統文化や歴史などに関する知識や関心が必要です。各課のテーマには「日本の地理」「日本のテクノロジー」「日本のポップカルチャー」「日本の政治」「世界と私の国の未来」など、また「文化ノート」と呼ばれるコラムのトピックには「お米の話」「日本の色々な迷信」「日本人のジェスチャー」「標準語と方言」などがあって、中上級にふさわしい上質なコミュニケーションを行う上で必要な「内容」が豊富に取り入れられています。

▽教科書を補完する専用ウェブサイト

この教科書のもう一つの特徴は、インターネットの活用です。「とびらサイト」と呼ばれるウェブサイトには音声教材、会話練習用教材、ビデオ教材、単語や漢字の練習などが用意されており、学習者がこのサイトにアクセスして予習や復習をするようになっています。会話練習用のプログラム Language Partner Online では、映像の中の人物と会話を練習したり、学習者自身の発話を録音したりすることができます。また、たとえば下の教材例にあるように、本文で読む内容に関連するサイトや読解補助ツールが利用できるサイトにリンクできるようになっています。

単語の意味や文法の説明は英語で書かれているので、英語圏の学習者には使いやすいでしょう。



p.54-55



本ばこ

ほん

一新刊教材・図書紹介

しん かん きょう ざい と しょ しょう かい

カタカナ語の学習・教授方法のヒントがたくさん！

『聞いて書いて覚えるカタカナ語スピードマスター』

著者：棚橋明美、渡邉亜子、大場理恵子、清水知子 出版社：Jリサーチ出版

URL：http://www.jresearch.co.jp 発行年月：2009年6月 ISBN：978-4-901429-92-4

判型・頁数：B5判、144頁、解答集22頁、CD 1枚 定価：1,260円



カタカナ語とはカタカナで書かれる外来語のことです。カタカナ語が苦手だという学習者は少なくありませんが、先生方からは「授業で扱う時間がない」「適当な教材がない」という声がよく聞かれます。この本を参考に、カタカナ語を分かりやすく楽しく教える方法を考えることができそうです。

▽学習者のレベルに合わせて利用できる

教材は5つのステップで構成されていて、教師は学習者のレベル（初級から上級）に合わせて活用することが可能です。ステップごとの活動を見て、自分の学習者にとどの段階の練習が必要なのかを整理することもできます。

Step1では、読み書きを間違えやすいカタカナを書いたり聞いたりする練習をします。Step2では、カタカナ語の音の特徴をつかむために、拍や発音に注意して聞いたり書いたりする練習をします。そしてカタカナ語と原語である外国語との違いを理解し、カタカナ語のルールを整理します。Step3では、カタカナ語を動詞と名詞とナ形容詞にわけて文の中で捉える練習をします。Step4では、会話の中で使われているカタカナ語を聞いて理解したり、スピーチで使ったりする練習をします。Step5では、カタカナ語を使って文章を書く練習をします。

▽単語リストが活用できる

単語は各ステップで扱われたものがリストになっているだけでなく、カテゴリー別（例：服・くつ・かばん／乗り物・交通／趣味・スポーツ・芸術など）にもなっており、学習者にとって必要なカテゴリーから選んで授業で扱うことができます。普段の授業のトピックにあわせてカタカナ語を用意したい場合にも便利でしょう。また、

学習者自身が辞書として利用することもできます。

▽普段の授業に取り入れるヒントがある

「どのようにすれば、単調になりがちな学習を楽しくできるか」と悩んでいたなら、この本の活動を参考にしましょう。

例えば、カタカナを聞いたり書いたりする練習を楽しい教室活動にしたいと思ったら、Step1がヒントになるかもしれません。CDを聞きながらカタカナを書き進めると、メッセージが浮かび上がる活動があります（図参照）。Step3には、カタカナ語の意味を推測しながら文章を読む活動があります。他にもクロスワードパズルや、インフォメーションギャップのある活動、ロールプレイなどがあります。

6つのコラム「カタカナ語ミニ知識」は授業の「ネタ」にできますし、上級学習者にとっては面白い読み物になります（『Cupは

カップ？コップ？』『ワイシャツの「ワイ」はY？』など）。中国・韓国・英語の訳もあるので、初級の学習者なら訳文の方を読ませて、カタカナ語の学習に興味を持ってもらうこともできるのではないのでしょうか。



p.20



本ばこ

ほん

— 新刊教材・図書紹介 —

しん かん きょう ざい と しょ しょう かい

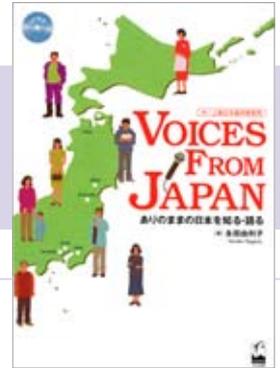
41のインタビューから現代社会を考えることができる

『中～上級日本語学習者用 Voices From Japan ありのままの日本を知る・語る』

著者：永田由利子 出版社：くろしお出版

URL：http://www.9640.jp 発行年月：2009年10月 ISBN：978-4-87424-453-1

判型・頁数：B5判、106頁 CD1枚 定価：1,890円



▽豊かな話し言葉の素材集として

この教材は、日本の各地で生活しているさまざまな人の生の声を録音した素材集です。話題は、労働、生き方、家族、結婚、教育、親子関係、ジェネレーションによる考え方の違いなど、身近でありながら、国境を越えて多くの社会に共通する普遍的なものを扱っています。

本書に登場する人は、学生、主婦、お年寄り、外国人などさまざまです。また、インタビューをそのまま収録しているので、「あー、えーと」などのフィラー、繰り返し、言い換え、省略、俗語、方言などの話し言葉の特徴が入っていてとても自然です。

▽本書の構成

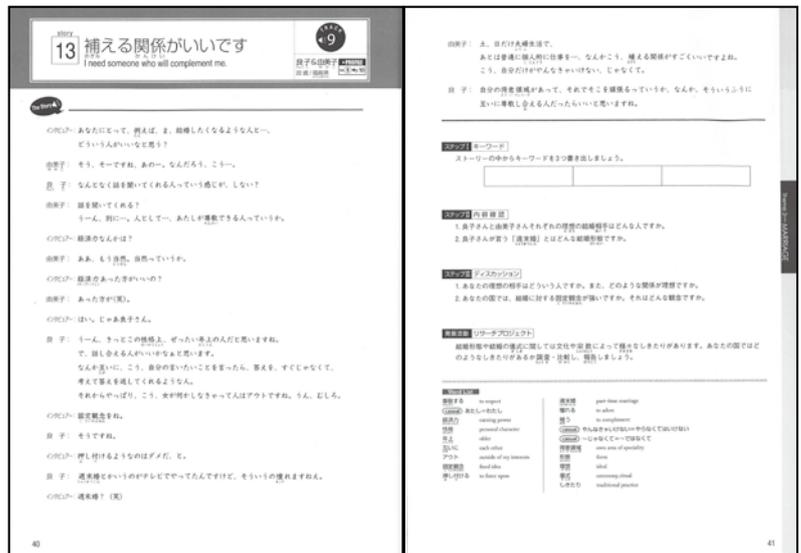
本書は、「人生、働くことについて」「家族について」などの8つの大きなテーマに分かれています。各テーマは、ストーリーと呼ばれるいくつかのインタビュー（文字数200字～1000字）からなっています。このストーリーごとに、キーワード、内容確認の質問、話し合いのためのディスカッションポイント、さらに、活動を発展させるためのアイデアが載せられています。

▽授業での利用の仕方

この教材は、ストーリーをもとに自由なディスカッションに発展させることを目指して作られています。そのため、まず、ストーリーを聞いて、キーワードだと思ふことを3つ考えてグループで意見交換します。次に「内容確認」

の質問にそってストーリーの理解を確かめた後、「ディスカッション」の質問（例：理想の結婚相手はどんな人？）を見ながら、自分の意見や経験を出し合います。この自由な話し合いこそが、この教材の醍醐味と言えるでしょう。さらに、時間がある学習者のためには、「発展活動」として、グループでインタビュープロジェクトを行う、ディベートをする、作文（エッセイ）を書く、リサーチプロジェクトを行うなどの活動のアイデアが準備されています。これらの発展活動は、コース全体のシラバスや期間を考慮して、学習者にとっておもしろそうなものを組み込むとよいでしょう。

また、ここでは、授業での利用の仕方を中心に説明しましたが、ストーリーを聞いてみる、そこで考えたことを自分で書いてみるといった独自の使い方も十分に可能だと思われます。



p.40-41